

【新たな防災倉庫を設置しました】

30年豪雨災害時に、総数約200名の避難者の対応に苦慮した経験から、特に土砂崩れで道路が塞がれ陸の孤島となってしまう、物資の調達に困ったことから、加えて避難所での感染症対策が求められるようになったことから、災害時備品の拡充に努めてきましたが、これらの災害時に必要な物資を備蓄しておく倉庫を新たに設置しました。

避難所で必要な備品や食料を備蓄する倉庫を、亀岡市の防災拠点施設として高橋の府道沿いの宅地を借用して設置願い、また土のう等の水防資材や大型機材、消防団資機材などを収納する倉庫を、畑野町農林業振興協議会が地力増進施設として使っていた城山の府道沿いにある建物を借用、改修工事を施して設置しました。

これまでからある公民館横の畑野町自主防災倉庫とともに、非常時に備えた防災備品の拡充にこれからも努めてまいります。



「高橋に設置した防災備蓄倉庫」
収納倉庫2棟を設置して
避難所備品（間仕切り、ベッ

毛布、空気清浄機など）
避難所食品（飲料水、非常食、
感染防止の衛生品など）



「城山に整備した水防資材倉庫」
水防備品（土のう、スコップ、
ロープ、コーンなど）
大型備品（水タンク、炊き出し
窯、
発電機、投光器等）
消防団資材（ホース、ポンプ機
材、
水難救命具など）